

議員提案の 予算修正が実る

「やっと5000円入ったワ〜」

防災センター設計費1000万円 削除

— 令和3年度一般会計予算の修正案が可決 —

3月定例会最終日、町長提案の令和3年度一般会計予算が賛成1で否決され、下記の5点が修正されて可決しました。

修正事項（建部議員の提案説明より抜粋）

1. 呉竹総合センターの防犯カメラ設置工事費

= 249万9千円を192万4千円減額し、88万5千円に。《理由》
→外部4か所のカメラの設置は認めるが、内部(室内)10か所の地域住民や子どもたちの監視のためのカメラは必要ない。

2. 倉庫整備工事費

= 120万1千円を全額削減する。《理由》→仮設として役場玄関前に設置するとのことであるが、ゴミステーション建設の予定があること、玄関先の景観を損なうこと、2.7坪のプレハブ物置にしては異常に高いことから無駄な経費になる。現況の場所を整理整頓して使用すればよい。

3. せせらぎの里管理費の不動産鑑定委託料

= 40万5千円を全額削減する。《理由》→「せせらぎ道の駅」の付近に「防災道の駅」を建設する用地(2600㎡)買収に伴う不動産鑑定であるが、建設の是非、その位置も含めて議会と協議する必要がある。

4. 道路等維持補修費

= 1,200万円を計上。《理由》→昨年と同様の町内建設業者経済回復支援事業として、町内道路等の維持補修工事を行う。

5. 総合防災センター設計業務委託料

= 1,000万円を全額削減する。《理由》→総合防災センター、西倉庫の代替、ゴミセンターの三つの施設を含めた基本設計の業務委託であるが、それぞれの施設をどの位置に建てるか、その建物の規模、内容等も明らかでない。また、国の補助金や起債の有様が定かではない状態での建築設計は無謀と言えよう。見積額1,000万円の根拠も十分な説明もなく、ずさんな見積りである。

まだかまだかと待っていた。町民ひとり5千円支給」がやっと実施され、いろいろな声が寄せられています。たった5千円か？」
「これで少しは飲める」などなど…。
町議会で昨年9月に決まった補正予算が半年後にやっと実行された形です。1月の全員協議会では町が「6月に支給」と発表していたものを建部議員、西澤議員らが「もっと早く、せめて年度内に」と強く求めていました。
町の提案には「ひとり5千円支給」はなく、全ての字区に300万円を「防災・コロナ対策」として配分する計画であったのを議員提案で修正したものです。

県下一高い保険料 6,900円 (基準月額)



コロナ禍で町民の生活が苦しくなる中、第8期の介護保険料が県内で一番高い6900円(基準月額)となりました。
3月議会で西澤議員は、第7期計画(6800円)の際の付帯決議の「引き下げの努力」が見られない、調整交付金の活用)、一般会計からの繰り入れなども国・県と本腰入れ要請すべき、高い負担は容認できないなどの理由で反対討論。他の議員の賛成で可決しました。

防災センターあり

ではなく

たちまち災害が起きれば、現在の庁舎で対応せざるを得ません。とりわけ大災害では町長を先頭に町職員と住民が消防など関係機関の協力を得て、力と心を合わせ、被害を防ぎ、最小限にとどめることが何よりも大切です。施設ありき」ではなく、防災教育と体制づくり、連携の強化こそ最優先されるべきです。

野瀬町政での不祥事・ミスが連続して起きる下で、町の防災計画を活かした取り組みができるのか？甚だ疑問です。野瀬町長が「防災センター建設中止」を掲げて当選した経緯からも、「建設」を選択した理由、施設の機能・規模・財政状況などの説明責任を先ず果たすべきではないでしょう。

甲良民報

2021年4月4日

818号

発行責任：日本共産党甲良町議員

連絡：甲良町在土373(西澤)

Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】